

磁石で入れ歯を固定

おくちの相談室

【問い】 入れ歯を使っていますが、金具の取り外しが面倒に感じています。より簡単に取り外しができる磁石付きの入れ歯が保険で作れると聞いたのですが、どのようなものでしょうか。
（長崎市、70歳男性）

【答え】 質問は「磁性アタッチメント」についてのことかと思えます。内側に磁石が付いた入れ歯を、口に残っている根だけの歯（残根）などに固定した「キーパー」と呼ばれる金属に密着させ入れ歯を固定します。キーパーは、インプラントや残っている歯の横（歯冠外アタッチメント）などに組み込むこともあります。自費診療としては以前より使われていましたが、キーパーを残根に組み込むものに限り、9月から保険適応となりました。

磁性アタッチメントの入れ歯は外れにくく、また外すときには外しやすいという、従来の金具を使った入れ歯にはないユニークなメリットがあります。かむ力を歯でしっかりと支えて安定させる一方で、有害な横揺れの力が緩和されたり、着脱時の不要な負担を軽減したりすることができ、支える側の残根を長持ちさせることが期待されます。場所によっては歯に付ける金具がなくなり、見た目の改善が得られる場合もあります。

実際の治療手順は、まず残根を削った後に型取りを行い、2回目の来院時に残根にキーパーを組み込んだ金属を装着、同時に入れ歯の内面に磁石を組み込み完成です。その後、必要があれば調整などを行います。

メリットの多い治療ですが、磁気共鳴画像装置（MRI）検査時には注意が必要です。磁力が低下する場合がありますので入れ歯はMRI室に持ち込めません。キーパーを装着した場所によっては、頭部MRI画像に部分的な乱れが生じる可能性もあります。

残根の位置や状態により、効果があり期待できない場合や、適応にならない場合もあります。まずは、かかりつけの歯科医に相談してみてください。

磁性アタッチメント



回答者
松本 浩志
長崎市扇町
扇町歯科医院長

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します（直接本人に回答はしません）。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。